

## 41. 世界遺産を楽しく学ぶ科

【火曜日 授業予定表】 講師：堀 信行・井上 敏・竹村 和花 ほか

		午 前				午 後				
回	月	日	曜日	講座数	テーマ	内 容	講 師 名	テーマ	内 容	
1 学 期	1	7	金	①	①入 学 式 & オリエンテーション (合同、大阪国際会議場)					
	2	4	11	火	1	世界遺産入門	「世界遺産」誕生物語、世界遺産の分布と特徴、基礎知識	東京都立大学名誉教授 堀 信行①	自己紹介、年間学習・行事予定等の説明	
	3		18	火	合同オリエンテーション					
	4		25	火	2	★校外学習①	平等院		自主活動	
	5		9	火	3	日本の文化財と世界遺産①	明治期から第2次世界大戦敗戦までの日本の文化財保護制度と問題点について	桃山学院大学教授 井上 敏①	”	
	6	5	16	火	4	★校外学習②	姫路城		”	
	7		23	火	5/②	日本の文化財と世界遺産②	第2次大戦敗戦後から現在に至るまでの日本の文化財保護制度と問題点について	井上 敏②	②社会への参加活動(準備活動) (活動事例研究)	
	9		6	火	6/7	世界遺産 百舌鳥古墳群について	①百舌鳥古墳群の基礎的な説明 ②仁徳天皇陵古墳の調査結果	堺市博物館 学芸員 橋 泉①	イタリアの世界遺産:旅行ライター、温泉研究家 竹村 和花① ヨーロッパの根幹を築いたヨーロッパの旅	
	10	6	13	火	8	世界遺産条約が抱える問題	日本にも大きな影響を与えた世界遺産条約が抱える問題点とこれからの未来について	井上 敏③	自主活動	
	11		20	火	③	③遠 足 (1)				
	12		27	火	9	スペインの世界遺産	ヨーロッパの歴史の変遷を色濃く残すスペイン文化への旅	竹村 和花②	自主活動	
	13		4	火	10	世界遺産登録までの道のりと現在の取り組み	百舌鳥・古市古墳群の価値と登録前後の取組について	堺市世界遺産課保存管理係 小林 和美①	”	
	14	7	11	火	11	ドイツとフランスの世界遺産	対照的な発想と思考に出会う	竹村 和花③	”	
	15		18	火	12	古市古墳群について		羽曳野市 伊藤 聖浩①	”	
		8	夏 休 み							
2 学 期	16	9	12	火	13	アラブの世界遺産	ヨーロッパとアラブの世界遺産から見えてくる宗教と文化的価値観に触れる旅	竹村 和花④	自主活動	
	17		19	火	14	★校外学習③	薬師寺		”	
	18		26	火	15	日本の世界文化遺産の風景考①	富士山:登録までの経緯と富士信仰	堀 信行②	”	
	19	10	10	火	16	日本の世界文化遺産の風景考②	厳島と平和記念公園	堀 信行③	”	
	20		20	金	④	④コーダイジョイフルゲームズ (屋外でのジョイフルゲームズ。雨天中止)				
	21		24	火	17/⑦	日本の世界文化遺産の風景考③	琉球王朝の関連史跡:首里城と斎場御獄	堀 信行④	⑦社会への参加活動	認知症サポーター養成講座
	22		31	火	⑤	⑤遠 足 (2)・・・(仮日程;2学期の何れかの日に各科で遠足日を設定)				
	23	11	7	火	18	自主(企画)講座			自主活動	
	24		14	火	⑥	⑥コーダイフェスタ (日程・会場未定)				
	25		21	火	19	日本の世界自然遺産の風景考	日本の自然遺産の諸相:小笠原諸島・屋久島・奄美 他	堀 信行⑤	自主活動	
	26		28	火	20	★校外学習④	法隆寺		”	
	27		5	火	21	世界の世界文化遺産の風景考	秦の始皇帝陵	堀 信行⑥	”	
28	12		火	22	世界遺産とユネスコについて	世界遺産の最新事情	世界遺産総合研究所 所長 古田 陽久①	”		
冬 休 み										
3 学 期	29	1	16	火	23	世界の世界自然遺産の風景考	氷河と氷河作用の地球史を探る	堀 信行⑦	自主活動	
	30		23	火	24	★校外学習⑤	二条城		”	
	31		30	火	25	世界遺産まとめ	趣味のテーマから世界史に出会う	竹村 和花⑤	”	
	32	2	6	火	⑧	⑧・⑨修学旅行(1泊2日)				
	33		7	水	⑨					
34	13		火	26	学習成果発表会					
35			火	⑩	⑩修了式					
					授 業(自主講座、成果発表会含む)	26(講座数列数値の1~26)		自主活動	20	
					学 習 事 業(①~⑩)	10(講座数列数値の①~⑩)	★印は校外(教室不要)			
					合 計	36				

注) 1. 日程、カリキュラム内容等は、都合により変更になる場合があります。

2022. 10. 07